

「ちゅぽ…♡、じゅるるる…♡、くぽくぽ…♡」

「ああ…！、いきなりそんな啜えて…！」

夏姫は躊躇なく俺のものを啜え美味しそうに吸い始めた

「れる…♡、くっぽくっぽ…♡」

（凄いむせかえる様な匂い…！）

でもすごい興奮する…♡

（これ全部太一の匂いだからかな…）

ちゅぽちゅぽ…♡

「はあ…！そんな、凄…♡」

（あの夏姫が自分からチンポ啜えてくれてる…！しかも体育直後のを即尺で…！）



「はあはあ…♥、じゅるるる…♥じゅるるる…♥」
（おチンポ吸うの止められない…!!）
さっきの体育も太一のおちんちんの世話がしたくて
しようがなかった…!!
どうして?、こんな鼻が曲がりそうなほど臭いの…!!

「はあはあ…、夏姫い…!!」

「れるれるれる…♥
じゅるるる…♥、じょぞぞ…♥」

じゅっぽじゅっぽ…♥

「おほお…♥」

夏姫は首を振りピストンしていく

（うう…!夏姫そんなに凄い音を立てて…!!）
俺のちんちん夏姫に捕食されてるみたいだ…!!



「ずっばずっば……♡♡」

「あ、あ、あ、…♡」

[illegible]

「おおお……♡」

（辜丸ごと精子持つてかれちゃう……！）

夏姫の掃除機のようなバキュームに俺の睾丸が縮み上がる

「ふうふう……♡」

（太一のチンポ吸っていると脳がビリビリするぐらい感じる……♡）
早く太一の子種飲みたい……！）